

Beyond 5G ホワイトペーパー～2030年代へのメッセージ～

Beyond 5G推進コンソーシアム 白書分科会活動概要



Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会 白書分科会主査
株式会社 NTT ドコモ R&D イノベーション本部 チーフテクノロジーアーキテクト
中村 武宏

2019年以降世界的に5Gが商用導入され、日本においても2020年3月より5G商用サービスが開始された。現段階ではいまだ5Gの普及過程である一方で、2020年頃より6Gに向けた研究開発が世界主要国・地域で精力的に進められている。日本国内でも総務省のリードにより、2020年12月にBeyond 5G推進コンソーシアム（以下、本コンソーシアム）が設立され、国内での産学官連携による6Gに向けた検討がスタートした。図1に本コンソーシアムの組織図を示す。

本コンソーシアムは企画・戦略委員会と国際委員会での二つの委員会で構成される。本コンソーシアム発足当初より企画・戦略委員会の配下には白書分科会が設立され、コンソーシアムとしての白書作成に向け、検討が進められた。白書分科会の目的は以下のとおりである。

- 2030年代に期待される強靱で活力のある社会を展望し、Beyond 5Gのユースケースや通信の要求条件と技術を明確化する。
- Beyond 5Gコンセプトを早期にとりまとめ世界的に発信し、ITU含む国際的議論に反映するとともに、国際的なイニシアチブを確立する。
- 他業界の意見を積極的に取り込みかつ発信し、あらゆる産業界にとって有益なBeyond 5Gコンセプトを作り上げ、国際競争力強化に貢献する。

議論を効率的に進めるため、白書分科会内に、2030年代の社会観やユースケース、要求条件などを検討するビジョン作業班と、Beyond 5Gに向けた技術動向を検討する技術作業班を設け、検討が進められた。その結果、2022年3月に白書第一版を「Beyond 5G ホワイトペーパー～2030年代へのメッセージ～」として本コンソーシアムのウェブ上で公開するに至った。以降、ビジョン作業班と技術作業班の担当内容それぞれについて白書の概要を述べる。

本白書は、通信業界だけでなくあらゆる業界をまたがり、産学官で未来のビジネス創出や社会課題解決の検討を推進する上で有益な情報を多く含んだものとなっている。本白書が日本としてより良い未来社会を創造し、グローバルな活動を推進するための一助となることを期待する。

本検討は継続して行われるものであり、検討結果に応じ本白書を随時更新していく予定である。本白書をお読みいただいた方々には、是非白書分科会までご意見を頂きたい。

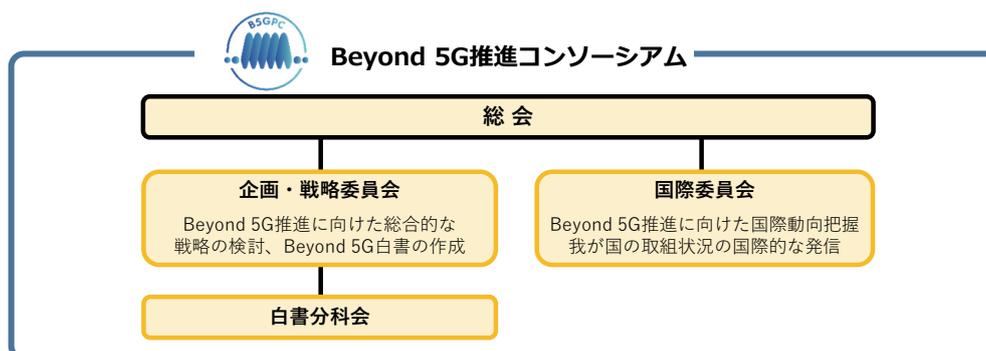


図1 Beyond 5G 推進コンソーシアム組織図